

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	嬉野市障がい者福祉計画 第1回策定審議会		
開催日時	令和4年12月21日(木) 10:00～		
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎2-3-1会議室		
傍聴の可否	(可) ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委 員	中山逸男委員、古川信子委員、福田まゆみ委員、稲富泰明委員、織田智海委員、小池和彦委員	
	事務局	福祉課：課長、副課長、主査	
	その他	ジャパンインターナショナル総合研究所	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料			
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	(1) 障がい者福祉計画について (2) アンケート等の内容・方法について (3) 今後の予定		
内 容	資料を基に、議題についての協議を行った。		
審議経過		1 開会 2 委嘱状の交付 3 部長挨拶 4 会長・副会長の選出 会長に中山委員、副会長に古川委員を選出。 5 会長挨拶 6 委員紹介 7 協議 (1) 障がい者福祉計画について 委員 策定について国の動向に合わせると説明しているが、嬉野市総合計画についても盛り込んで、整合を図ってほしい。 事務局 承知しました。 (2) アンケート等の内容・方法について 会長 配布数は2,100名とあるが、障がい者全員となるのか。 事務局 全員となる。嬉野市でサービスを受けている方全員のことです。	

委員	<p>アンケート抽出について、療育手帳を持っている子どもの家庭については割合的に少ないのではないのかと思う。発達障害、診断を受けることに躊躇する保護者が多い。そういう場合は、計画の範疇になかなか入らない。それは良くないと感じている。日本の福祉制度は、申告制を原則としている。申告しないと支援の対象とはならない。先のような保護者が、手を上げることができないという社会にしないようにすることが大切だと感じている。そうしたことを計画に入れ込んでいく必要がある。小さい時の発達に対する支援についても必要であるし、保護者が納得して子どもの姿を受け入れることができることが必要だと考えている。</p>
事務局	<p>地域福祉計画の範疇となると思うが、保護者が納得して子どもの姿を受け入れることができる社会という指摘については、検討したい。</p>
委員	<p>行政が作る計画なので、この計画の対象となるのは、障がい者手帳をもっている人になるが、将来的にどのような社会を作ったら幸せになれるのかという視点も大事だ。文言として入れ込むことはできないと思うが、そうした考えが底流していることが大事だと思う。</p>
委員	<p>否定したい親の気持ちは理解できる。小さい時から、支援につながっていれば、将来的に安心できると思う。難しいところではある。</p>
委員	<p>保護者が躊躇するのは、やはり差別や偏見があるという証拠だ。そうしたことをなくしていかなければならない。</p>
委員	<p>保育園児の子が仲良くできない様子を見て少し違うと感じ、兄弟で振る舞いが違うことに気づいて不安になる母親がいる。それで相談にやってくる人もいる。小さい時に支援につながることは大事だと思う。保育園側から保護者へ相談先の紹介などがあれば保護者も安心すると思う。また、そうした人たちの声を聞くことも大切かと思う。</p>
委員	<p>嬉野市ではないが、自分の子どもが昨年まで保育園に通っており、療育の案内が保育園から頻繁にあった。聞いたところによると、療育に関することを保護者に伝えて、トラブルになるケースが多くあったということだ。そうしたことを考えると、行政の方から第三者的視点で調整してもらえればよいのではないかと思う。</p>
委員	<p>われわれの子育てのプロとして、いろんな子どもをみている。先天的なものか、環境によるものなのか、見通しを付けることができるが、最終的には医師の診断となる。嬉野市からは、保健師が健診の際に回ってきてくれ、実際に子どもをみてもらっており、保護者とも話してもらって</p>

		<p>いる。こうしたところは助かっている。こうしたところは非常にデリケートなので、慎重に話し合いをしている。</p>
会長		<p>非常に重要な意見だ。今回の調査は、障がい者手帳を持っている人へのアンケートとなっている。最後に自由回答欄があるので、そこで意見をいってもらえるように付け加えてもらいたい。</p> <p>地域福祉計画に触れられたが、現在策定しているところである。関係している部長や課長もここに出席しているので、こうした意見があったことを念頭に置いてもらいたい。</p>
事務局		<p>そのようにしたい。地域福祉計画においても分け隔て内ない社会づくりの視点も検討していきたい。</p>
会長		<p>地域福祉計画の中には、子ども子育て支援事業計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者福祉計画なども入っているので、地域福祉計画の中で表現をしていきたい。</p>
委員		<p>前回の調査において、手帳を持っている人を分母として、回答率に隔たりはあるのか。</p>
事務局		<p>平成29年に行っているアンケートでは、配布数が2090件、回収数が1081件あり、回収率は51.7%となっている。手帳所持者別で見ると、身体の方が743件、療育の方が202件、精神の方が96件となっている。</p>
委員		<p>数字から言うと精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方の回答率が低いことが伺える。精神障がいをお持ちの方への回答率アップについて、何か対策はあるか。</p>
事務局		<p>検討はしていない。</p>
委員		<p>障がいの種別によってニーズは異なるので、それをできるだけ聞き取れる方法があれば、検討していただきたい。</p>
事務局		<p>回収率の低いところに督促状を送信するなど、回収率を上げることを検討したい。</p>
委員		<p>療育手帳を持つ方については、本人が記入することがよいけれども、家族が聞き取って記入することになると思う。家族がいない場合もあるし、施設にはいつている場合もある。そうした場合は、支援員が手助けすることになるのか。</p>

委員	前回のアンケートでは、支援員の方から説明をして、本人からの意思を汲み取って記述させてもらった。今回も予定している。
委員	就労していない理由については、就労支援につなげていけるのでよい設問だと思う。8ページ、「福祉の満足、不満足」についての理由もよい設問と思う。12ページ、嬉野市の障がい者施策の全般について、どのようなまちになってほしいのかを設問で組み入れてもらいたい。視覚障害者の方への対応についてはどう想定しているか。
事務局	家族や支援者が本人の意向を聞いて、記入してもらうよう想定しています。
委員	ヘルプマークの認知度、使い方の周知についての設問も入れてほしい。
会長	佐賀駅にてヘルプマークの交付ができるようになったと新聞に書いてあった。市役所や嬉野温泉駅、交流センターなどにも置くことができればと思う。概要版についての裏表紙にヘルプマークの案内、説明ができればよいと思う。
会長	2ページ、下から2番目の設問、「障がい福祉サービス、地域生活支援事業を利用していますか。」については説明が欲しい。具体的にサービス名を入れてほしい。4ページ、中央の設問「悩みや困ったことを相談するのはどなた(どこ)ですか。」の選択肢10「障害者 基幹相談支援センター」は佐賀県にはないのではないかと。同じく4ページ、下段の設問文「外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。」については「(あてはまるものすべてに○)」を入れてほしい。
委員	2ページ、下から2番目の設問「介護保険において、要支援・要介護と認定されていますか。」について、利用していない理由についても追加してほしい。利用したいけど入れない方もいるのではないかと。計画なので、事業のチェックのためには理由を聞く必要があると考える。
事務局	今回の設問について、いくつかご意見のあった件については、こちらで確認させていただき、できる範囲内で、アンケートの調査票に反映させる方向で検討したいと思います。
事務局	(3) 今後の予定 審議会は今回の会議を含めて全四回の開催を予定しています。次回開催は、5月頃を予定しています。次回の内容は、今回のアンケ

	<p>ートの内容、計画の進捗、計画の骨子案を示したいと考えています。 また、第3回会議は8月頃、第4回会議は11月か12月頃になるかと思えます。</p> <p>4 閉会</p>
その他	